

2. 津南～駒返り 沿線地区

【津南～駒返り 沿線地区の公共交通の現状】

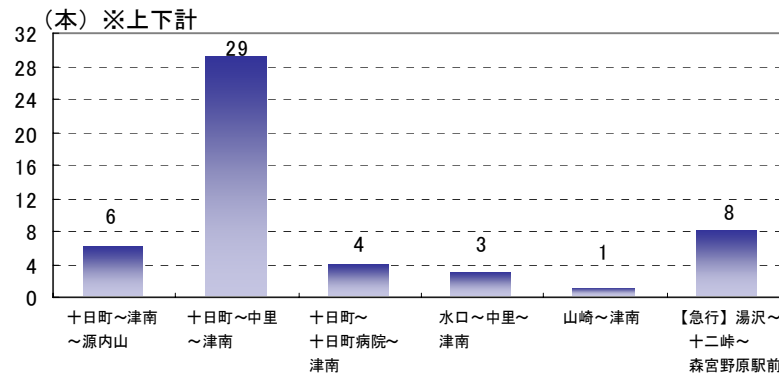
- ・津南町～十日町を結ぶ路線バスが運行しており、津南町内の他地区に比べ公共交通利用環境・サービス水準は高い。
- ・しかし、朝・夕以外の日中は利用者が少ない時間帯もあるため、運行ダイヤの見直し等は検討が必要。

●路線の概況

運行本数(平日)

十日町～津南地区は1路線6系統行(急行含む)が運行。運行本数は合計で51本。他地区と比べて多い。

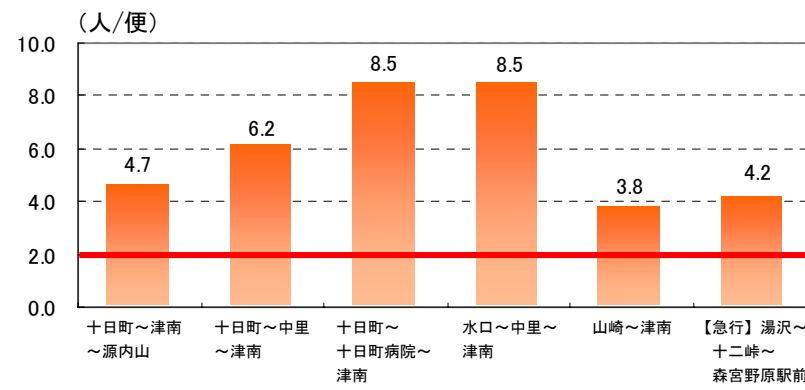
- ・「十日町～津南」上下計39本(19.5往復)
- ・「水口～中里～津南」上下計3本(1.5往復)
- ・「山崎～津南」上下計1本(0.5往復)
- ・「急行：湯沢～森宮野原駅前」上下計8本(4.0往復)



平均乗車密度

津南～駒返りはすべての路線バスで平均乗車密度2.0人以上。

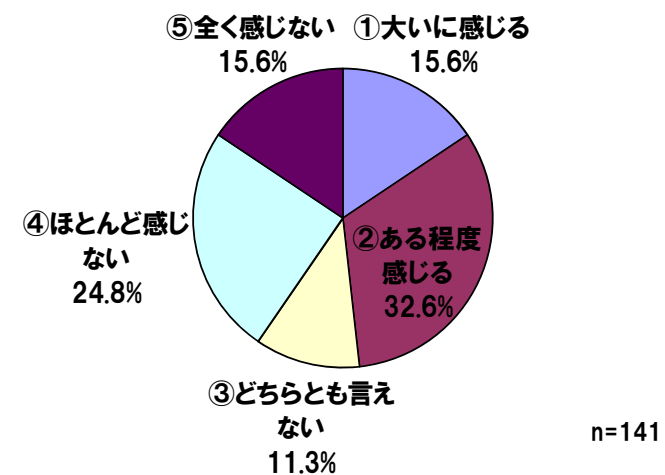
- ・「十日町～津南～源内山」：4.7人/便
- ・「十日町～中里～津南」：6.2人/便
- ・「十日町～十日町病院～津南」：8.5人/便
- ・「水口～中里～津南」：8.5人/便
- ・「山崎～津南」：3.8人/便
- ・「急行：湯沢～森宮野原駅前」：4.2人/便



●住民ニーズ(※アンケート調査結果から問題点・課題部分を掲載)

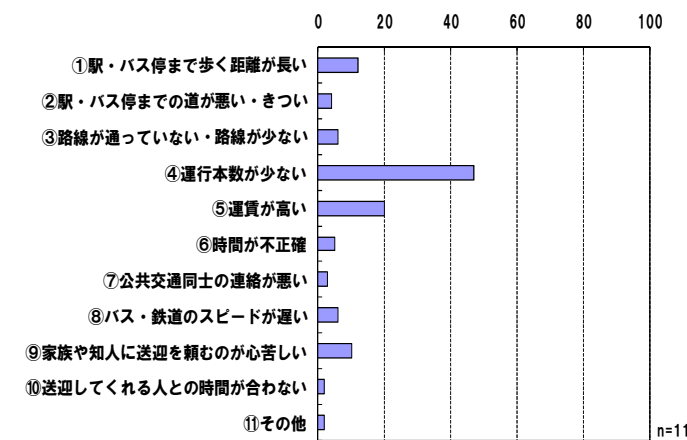
【公共交通の満足度】

- ・公共交通利用者の48.2%が不満と感じている。
- ・他地区と比べて満足度は低く、満足度が高い。



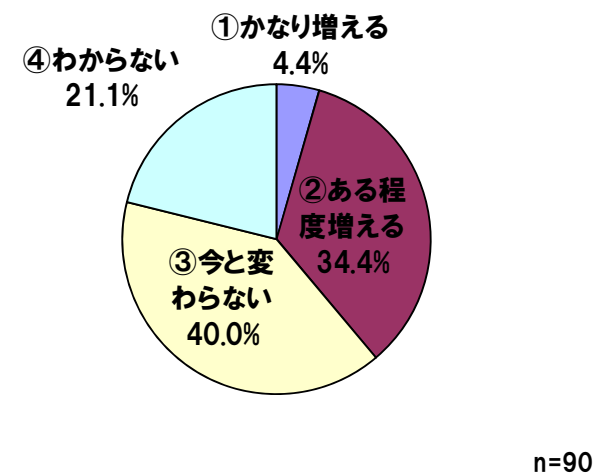
【具体的な不便内容】

- 1位：運行本数が少ない。
- 2位：運賃が高い。
- 3位：駅・バス停まで歩く距離が長い。



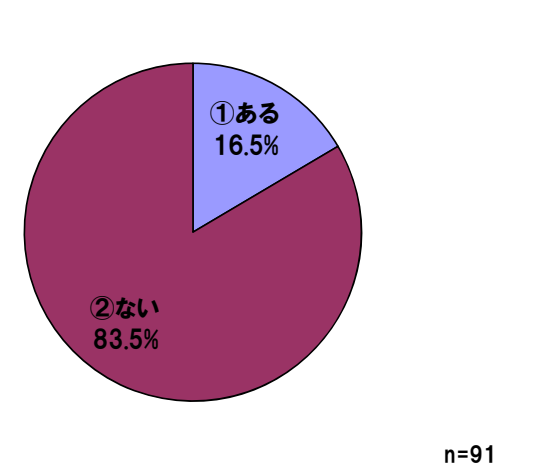
【不便改善による利用機会】

- ・不便改善しても「今と変わらない」と回答された方が40.0%。「利用機会が増加する」と回答された方を上回っている。

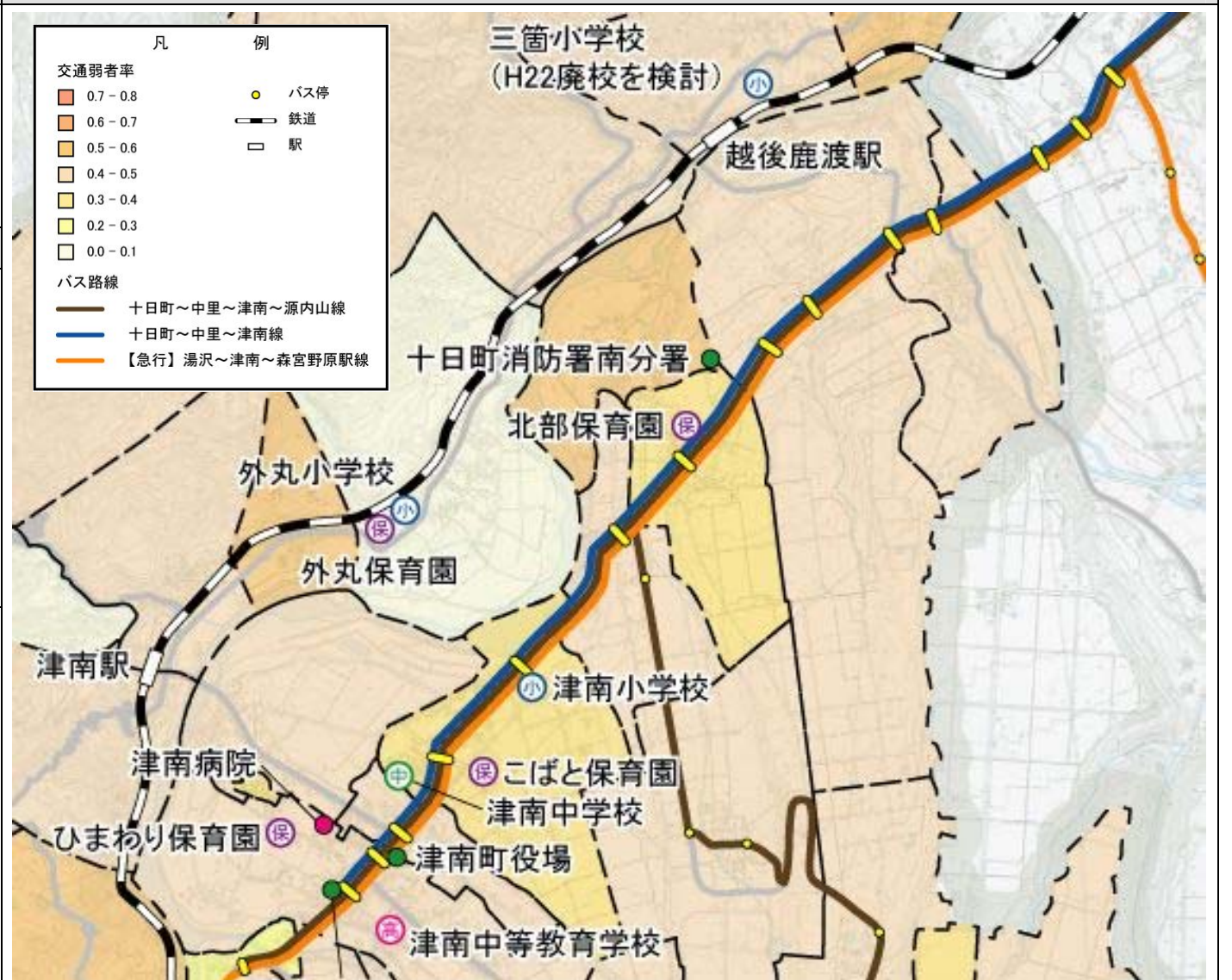


【行き来できない施設・エリアの有無】

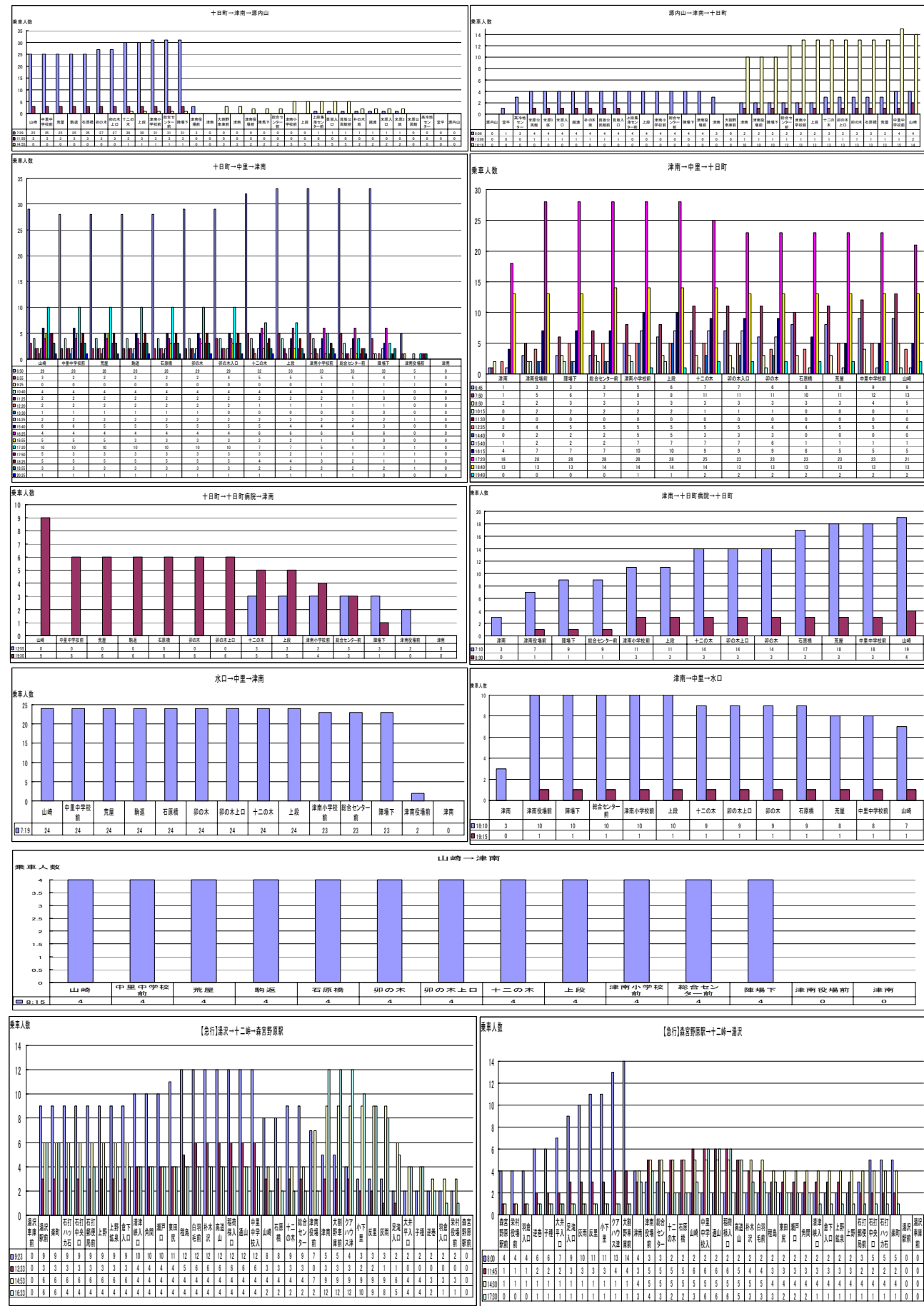
- ・公共交通で行き来できない施設・エリアがあると回答している方が16.5%。



バス路線網(現況)



路線バス乗降調査結果(H19.6 データ)



既存公共交通の重複状況



当該エリアの問題点・課題

【路線バスとスクールバスの重複状況】

・ 駒返り・卯ノ木から津南小学校への登下校は、登校時にはスクールバスで対応（津南中学生との混乗）し、下校時には路線バスで対応しており、スクールバスと路線バスの路線が重複する区間が存在する状況ではあるが、特に問題なく機能している。

【その他の状況】

・ 津南～十日町間の路線バスは、2都市を結ぶ「幹線バス」として機能している現状があり、津南町における利用者は多い。
 ・ 北部保育園の園児輸送は、保育園送迎タクシーが対応している。

【今後予想される変化状況】

・ 平成 22 年度に津南原小（源内山地区）が津南小に統合される。

当該エリアの公共交通ネットワーク見直し・再編イメージ

【公共交通ネットワークの見直し・再編】

方向性①：津南～十日町間は主要幹線ルートとして現状を維持

・ 津南～十日町間の路線バスは、2市町を結ぶ地域の重要な「幹線バス」として機能しており、津南町内で運行する路線の中でも特に利用者が多いことから、原則として現状の運行水準を維持する。

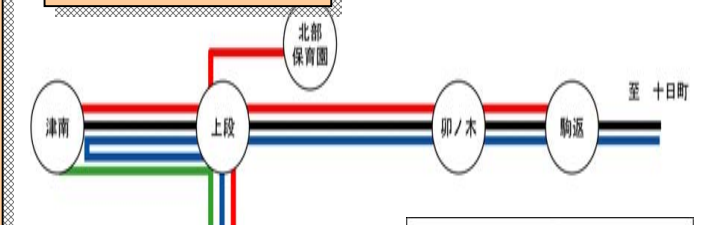
方向性②：スクールバス運行の見直し統合

・ 津南原小（源内山地区）の津南小への統合に対応し、現在運行している源内山方面へのスクールバスを包括した形での新たなスクールバス運行形態（1台で現行2台運行分を対応する方式）に見直し統合する。

方向性③：保育園送迎タクシーをやめて新たに乗合タクシーを導入する

・ 乗合タクシーは北部保育園の通園に対応しながら乗合運行する。

現状のルートイメージ



ルート再編イメージ

